

【オンライン授業について】

コロナの終息が見えず、夏休み明けから分散登校が始まりました。オンラインで児童とつながることも視野に入れていかなければならなくなりました。今回は、「いまさら人に聞けないオンライン活用」として、オンラインに対しての苦手感を取り除いていただこうと思います。

□オンラインに向けて（準備）

【学校側が行うこと】

- タブレット持ち帰りの承諾書の作成・配布・回収
- Wi-Fi 環境調査の作成・配布・回収
- Wi-Fi のつなぎ方のプリント
- zoom の入り方のプリント

【担任が行うこと】

- オフラインでのアプリの活用
- タブレットと家の Wi-Fi のつなぎ方
- ぎふ web ラーニングの使い方
- zoom の入り方、使い方、約束
(teams の入り方、使い方)

□オンラインを行うとき

オンラインを活用するときには、大きく分けて3つのアプリを使うことができます。この3つのアプリを、登校ができるうちに使いこなせるといいです。



【metamoji】

特徴

- 教材を配布できる
- 手書き学習できる
- 編集加工ができる
- モニタリングできる

■■オンラインでの使い方■■

- ・課題プリントの配布
- ・朝の検温結果を記録



【zoom】

特徴

- テレビ会議
- 無料版は40分
- パワポなどを共有

■■オンラインでの使い方■■

- ・オンライン朝の会
- ・オンライン授業
(無料版は時間40分)



【Teams】

特徴

- テレビ会議
- 課題の提出・返却
- カレンダー
- 資料を共有

■■オンラインでの使い方■■

- ・課題の配布
- ・課題の返却
- ・オンライン授業
(コロナ禍は24時間まで)

考えをまとめたり、考えたりする場面での活用

仲間の考えや意見を確認したりする場面での活用

【岡田のおもいつ記】

オンライン授業が迫ってきています。しかし、いきなり45分の授業は難しいので、オンライン朝の会など、短時間でも児童とつながる時間を確保するというスタンスがいいと思います。ICTは時間や空間の制約を受けないので、「オンライン」は非常に得意です。ですがこの「オンライン」というのは ICT 活用の一部であることを忘れてはいけません。本質は見方・考え方を働かせ、深い学びをすることです。今回の状況により、児童がタブレットの使い方に慣れ、それを、再開した授業の中で、自分の考えを深めるために活用してくれれば幸いです。そのためにも指導できるうちにどんどん活用させていけるといいと思います。先ほど挙げた Teams は普段の授業でも活用ができると思います。また、【ICT活用実践紹介】で取り上げたいと思います。お楽しみに☆